

かまきり



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

- 私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
- 私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
- 私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

は く い
公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/>

胃癌の化学療法について

～当院が参加している

胃癌に対する多施設共同臨床試験～



外科医長 舟木 洋

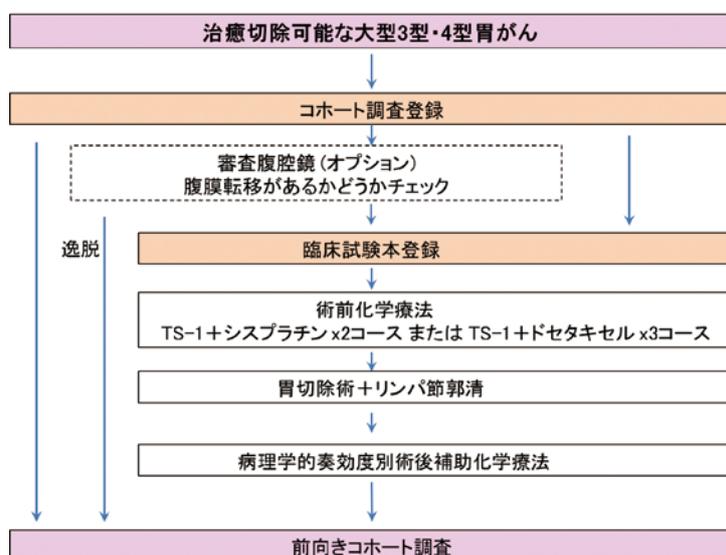
2010年10月に胃癌治療ガイドライン（第3版）が発行され、化学療法に関しては、日本における臨床試験を中心にエビデンスに基づいて治療法が明示されており、新たな治療法が推奨された場合は胃癌学会のホームページ（<http://www.jgca.jp/>）に随時公開されています。

切除不能な胃癌については『なぎさ第40号』（平成24年7月発行）でご紹介いたしましたが、今回は当院が参加している切除可能な進行胃癌に対する術前化学療法の多施設共同臨床試験（CoBLa試験）についてご説明いたします。

切除可能な進行胃癌の標準治療は胃切除術と術後1年の抗がん剤内服（TS-1）ですが、術後は体力が低下していることが多く、すべての治療を完遂できる患者さんは約6割です。一方で、抗がん剤は術前投与の方が忍容性が高いことがわかっていますので、術前化学療法に関する臨床研究が多数行われています。その中でも、切除可能でありながら予後不良な患者さんに対して、効果的に抗がん剤を選択しながら胃切除術を行う多施設共同臨床試験（CoBLa試験）が注目されており、当院も参加しています。

臨床試験（CoBLa試験）の流れ（下図参照）ですが、まず治療の実際を調査する前向きコホートに登録していただきます。周術期の化学療法をご希望される場合はそのまま本登録をされるか、

【臨床試験（CoBLa試験）の流れ】



るか、腹腔鏡検査で腹膜転移がないことを確認してから本登録をしていただきます。腹腔鏡検査で腹膜転移が見つかった場合は、結果として開腹術が避けられることになります。周術期の化学療法をご希望されない場合や、腹腔鏡検査で腹膜転移などが見つかった場合も前向きコホート調査はそのまま継続いたします。

ご不明な点があればいつでも外科外来に立ち寄っていただければ幸いです(^ _ ^)

行事紹介

プチナースイベント

「看護の日」に合わせて施設イベントとして、当院では毎年「プチナースふれあい体験」を行っています。

今年は平成28年5月11日（水）、とき保育園の13名の園児の皆さんに参加していただきました。園児の皆さんは、白衣・キャップを着用し少し緊張した様子でした。体験内容は、①聴診器で心臓の音を聞く ②傷の手当て ③赤ちゃんのお世話などで、赤ちゃんのお世話では新生児人形を抱っこ・おむつ交換をすることでお兄ちゃん・お姉ちゃんになった気分です。体験する所々では笑顔と歓声で楽しい体験ができた様子でした。また、患者さんとの触れ合いでは歌を披露したり、励ましの言葉を大きな声で述べたり、握手をしたりと患者さんもととてもよい笑顔で楽しんでいただけました。「小さな小さな体験から将来の看護師さん誕生」に“夢”ふくらませ今後も続けていきます。

血液浄化センター副看護師長 栗原 優子



ふれあいイベント

ナイチンゲールの誕生日の5月12日は『看護の日』となっています。そこで、羽咋病院も毎年看護の日に、住民の皆さまが健康で楽しい生活が送れるように『健康チェック』のイベントをおこなっています。

内容は、骨密度測定、血管年齢測定、肺年齢、血糖測定で、結果を見て一人ずつ指導もおこなっています。毎年約90人の参加をいただき、楽しみに待っている方もいらっしゃって、指導された内容を守りどんどん年齢が若返る方もいます。私たちの励みにもなり、住民の皆さまのパワーをいただける、楽しいイベントです。

今年は、カロリーゼロのコーヒーゼリーを栄養士が作り、皆さんに試食してもらいました。大変おいしく、レシピを聞かれたのですが答えられなかったので、来年はレシピも準備しておきます。来年度もたくさんの参加をお待ちしております。

3階病棟主任看護師
寺谷 美希子



ふれあい看護体験について

将来看護師になりたいという二人の高校生が参加しました。そくさいサロンに参加し一緒に切り絵を体験したり、患者さんの移送のため車椅子を押したり、ベットメイキングを実施したりしました。二人とも看護体験をして良かったと話され、看護師の仕事について少し理解していただけたかなと感じました。

4階病棟主任看護師 嵐 通子



行事紹介

事業所病院連絡会

羽咋病院では、年に4回、地域の介護保険事業所の方々と、情報交換等を目的とした連絡会をおこなっています。今年度2回目として、ナチュラルハートフルケアネットワーク・作業療法士の山下ともみ先生をお迎えして、床ずれ予防の研修会をおこないました。参加された方々の感想です。

臥位、つまり横になって寝ている姿勢は誰でも1日の1/4はとる姿勢です。寝るときにとる姿勢なので、立位や座位よりはずっと楽な姿勢には違いはないと、私は思っていました。なので、寝ている姿勢が患者さんにとっても楽なのだろうという考えを、当然のようにもっていました。

しかし、今回この研修を受けたことで、ただ寝ている姿勢が患者さんにとって楽な姿勢ではないのかもしれないということに気づくことができました。普段とることの多い姿勢だからこそ、その患者さんにあった楽な姿勢をとっていただくことが大切なのだと、今回の研修で学ぶことができました。

リハビリテーション科理学療法士 正井 美幸



私は、研修を受講してハッとさせられたことがあります。私たちは、仕事上でコミュニケーションが取りにくい利用者の介護にもあたっています。その方のケアにあたる際、本当に安らげる体勢で、寝る姿勢を確保していたかを考えていなかったことです。

姿勢確保に関して、一番印象に残ったことは、寝姿勢を整える習慣でした。重度化も防げます。寝姿勢を整えることで気持ちもリラックスします。さらに、不良姿勢はさまざまな二次障害をつくりまします。重さを支える場所を知る、重さを支える場所を確認する、動きを起こす場所を知ることが予防となります。また、クッションをあてるときも十分配慮することが大切だと思いました。家でも家族に実践したところ大好評でした。

研修の進め方もよかったです。グループに分かれて演習をおこなった際、指導者が同席していたので質問や確認等もしやすいものでした。自分の体で覚えるのはわかりやすいと思いました。

最後に、今後ケアを提供する際は、ゆっくりと休んでいただく、本人の苦痛を和らげる睡眠を提供できるようにしていきたいです。入院されている方は自宅へ戻られてからも、同じケアのもとで在宅

生活ができるように支援していきたいです。また自分たちのリラックス法として役立つこともわかりました。利用者だけでなく、その家族にも快適に過ごしていただけるように、伝えていきたいと思います。

眉丈園ホームヘルプサービスセンター
サービス提供責任者 小谷 優子



参加して印象的だったのは、拘縮は私たちがつくっているということ。驚きでしたが、その裏を返せば、拘縮予防は私たちでも予防が行えるということ。床ずれは体重が一点に集中してしまうとその箇所のできやすいのですが、体全体を枕やクッションなどの寝具になじませることで、安楽な体位を作りあげ、床ずれ予防も拘縮予防もできるということ学びました。今後は、この体をなじませるという一工夫をケアに取り入れていきたいと感じました。

2階病棟看護師 竹津 尚子



床ずれ予防のポイント

- ・骨盤の重さは下半身で支える、胸郭の重さは上半身で支える。
- ・クッションやマットはただ「挟む」「入れる」ではなく、重みを支えることを意識して配置する。
- ・引きずらない、持ち上げない。
- ・寝具になじませることを意識する。
- ・ポジショニングを誤ると、症状が重度化する場合がある。



ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写 真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵 画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書 字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳 句 宝達志水町若草会の皆様
- ♥ 園児の絵 こすもす保育園



こすもす保育園
5歳児 4組組



こすもす保育園
5歳児 4組組

いきいき健康づくり教室 予定

♪どなたでも参加できます♪

コレステロール・あぶらで血がトドロク

開催予定日: 8/3(水)、9/7(水)

第1水曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士、理学療法士

高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日: 10/17(月)

第3月曜日 15:00~

場所: 3階病棟 食堂談話室

内科医師、管理栄養士

ねたきりにはならない!

開催予定日: 8/24(水)、9/28(水)、10/26(水)

第4水曜日 15:00~

場所: 2階病棟 食堂談話室

整形外科医師、作業療法士、管理栄養士